末梢血幹細胞採取を受けられる方へ

患者氏名：　　さん　　担当医師：　　担当看護師：　　担当HCTC：

月日 経過	／ 入院日	／　～　／	／ 当日採取前	 当日採取後
達成目標	◇入院生活について理解できている。 ◇採取までの流れが理解できている。 ◇気持ちが落ち着いている。 ◇薬剤を使用することで起こりうる症状を理解できている。	◇体調に変化があるときは知らせることができる。	◇採取をするための身体の準備ができている。 ◇体調に変化があるときは知らせることができる。	◇急激な体調の変化がない。 ◇退院後の生活について理解できている。
治療・処置	身長・体重をはかります。 診察・問診をします。 		外来のアフェレーシス室で採取します。 通常、両腕の太い血管から針を刺して採取します。 朝9時頃から採取をします。3～4時間前後かかります。	採取中は体温・脈拍・血圧などを測定し、変化がないか観察をします。 採取後に針を抜いたところがしっかりと止血するまでテープで押さえます。 
薬剤	白血球を増やす薬（G-CSF製剤）を腕に注射します。 	白血球を増やす薬（G-CSF製剤）を腕に注射します。	白血球を増やす薬（G-CSF製剤）を腕に注射します。朝5時にうかがいます。	
検査	採血をします。	採血をします。 	採血をして採取できるか確認をします。	十分に細胞が採取できたか確認して、退院が決定となります。
安静度	制限はありません。	制限はありません。	制限はありません。	
食事	制限はありません。	制限はありません。	制限はありません。朝食は採取前に済ませてください。	
清潔	シャワー浴ができます。	シャワー浴ができます。	シャワー浴をする場合は採取前に済ませてください。	採取後、当日の入浴はさけてください。
排泄			採取前にトイレを済ませてください。	
注意点 確認事項	入院前に採取についての説明は行なわれていますが、わからないことや質問がありましたら看護師へ伝えてください。 G-CSF製剤を注射している期間は、腰痛などの骨の痛みが出る場合があります。痛み止めを使用できますので、お伝えください。		採取中は腕を動かすことができません。希望があれば、テレビを観ることができます。また、DVDやCDを準備していただければみることができます。	採取中～後に気分が悪い・指先がしびれる・腕が動かしづらいなどの症状がある場合はすぐにスタッフへ知らせてください。 当日は重たいものを持たないようにし、運動は避けてください。 多くの場合翌日から復学・復職が可能です。1週間程度は激しい運動や重労働を避けてください。 1～4週間後に健康診断を行ないますので、退院前に日時を調整しましょう。

※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたら、お尋ねください。

本人・家族への説明　　年　　月　　日　　説明者署名：

九州がんセンター　血液内科
2018年2月作成